

第128期中間報告書

平成20年4月1日～平成20年9月30日

株式会社
ノリタケカンパニー リミテド



INDUSTRIAL PRODUCTS



TABLETOP



ELECTRONICS



CERAMICS& MATERIALS



ENVIRONMENTAL ENGINEERING

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より株式会社ノリタケカンパニーリミテドをご支援いただきまして、誠にありがとうございます。

ここに、ノリタケグループの平成20年度連結中間期（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）の経営成績についてご報告申し上げます。

当中間期は、昨年来の原油価格や原材料価格の高騰に加え、米国を中心とした経済の減退により需要動向がますます悪化してまいりました。

当社におきましては、特に、食器事業及び電子事業が大きく影響を受けることになりました。これに対して早急な対応策が必要であると判断し、当期において抜本的な対策を実施することといたしました。

食器事業におきましては、市場の縮小に見合った生産規模とするため、9月末にフィリピンの工場を閉鎖して生産拠点を集約したほか、年度内に販売体制の大幅なスリム化を図ってまいります。電子事業におきましては、不採算販売の整理を行うとともにこれに見合う生産能力とするため、本年7月に夜須工場を閉鎖す

るなど生産体制の見直しを行いました。

これらの施策により、当中間期は、食器事業で24億円、電子事業で7億円、これらを合わせ全体で33億円の特別損失を計上いたしました。

こうした結果、当中間期の連結売上高は、668億8千3百万円（前年同期比1.2%増加）、連結経常利益は、37億2千9百万円（前年同期比29.9%減少）となり、連結中間純損失が7億5千8百万円となりました。

（平成20年度連結中間期の営業概況と下半期の事業方針）

次に、当中間期におけるノリタケグループの事業セグメント別の営業概況及び下半期（平成20年10月1日から平成21年3月31日まで）の事業方針についてご報告申し上げます。

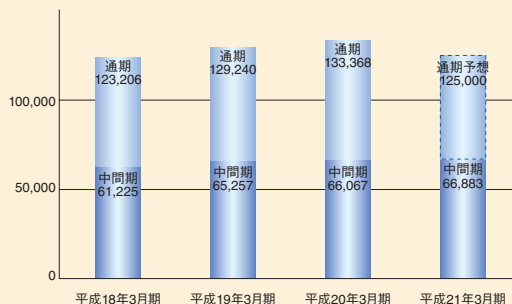
工業機材事業

1. 営業概況

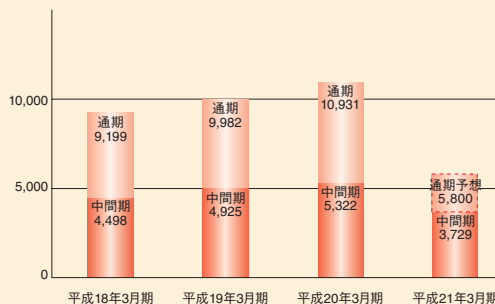
研削砥石及びCBN工具は、国内及び北米の自動車業界の減産の影響を受けたものの、鉄鋼、ベアリング業界向けが堅調に推移して売上げは微増となりました。

連結売上高及び連結経常利益（単位：百万円）

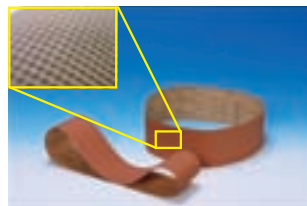
連結売上高



連結経常利益



た。ダイヤモンド工具は電子・半導体業界及び建築・土木業界向けの減少を、ペーリング業界向け商品の増販などで補い、ほぼ横ばいとなりました。研磨布紙は建材関連業界の不



三次元構造研磨布紙
“アルタック”

振や中国製安価品の攻勢を受けて苦戦いたしました。対応策として差別化商品を投入して増販を図りましたが売上げは微減となりました。その結果、工業機材事業の連結売上高は229億9千9百万円（前年同期比1.6%増加）となりました。

2. 事業方針

研削砥石メーカーとしてグローバル競争に耐えられる強い事業体制を実現するため、優位性の高い新商品や新技術の開発、生産体制の改革と整備、営業効率の向上などの課題に取り組んでまいります。今年度は精密加工用ダイヤモンド工具の拡販を図るため生産ラインを増設したほか、省力化によるコストダウンを目指した研削砥石の新工場の建設を進めております。

食器事業

1. 営業概況

国内市場におきましては、ホテル・レストラン向け及び百貨店・専門店向けともに不振で、売上げは減少いたしました。海外におきましては、アジア市場での航空



ノリタケポーンチャイナ
“トワイライトメドウ”

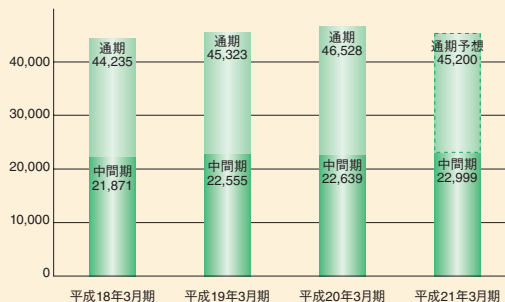
機用食器が堅調であったものの、北米市場では百貨店及び大型専門店向けが大きく落ち込んだことに加え、欧州市場でも為替の影響等で売上げが減少いたしました。その結果、食器事業の連結売上高は69億9千2百万円（前年同期比22.7%減少）となりました。

2. 事業方針

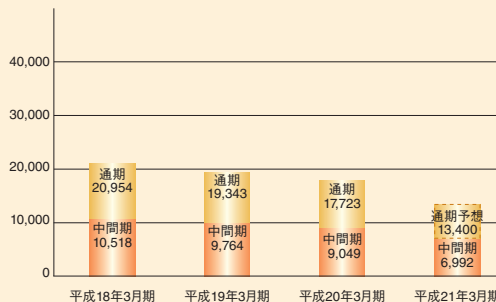
ブランドをより一層高級化する戦略を進めるとともに、製販の抜本的な合理化によって利益体質の確立を図ってまいります。国内工場は「ノリタケ」ブランドの最高級の製品作りに特化するとともに、それ以外の製品はスリランカ工場に集約することで効率化を進めてまいります。

事業セグメント別連結売上高（単位：百万円）

工業機材事業



食器事業



電子事業

1. 営業概況

国内市場におきましては、純正車載用及び給湯器用蛍光表示管の売上げが減少いたしました。海外市場におきましては、北米における純正車載用、オーディオ用及び調理器用蛍光表示管が、また欧州では調理器用等が堅調に推移いたしました。アジアではオーディオ用、医療機器用が減少いたしました。その結果、電子事業の連結売上高は58億8千6百万円（前年同期比7.6%減少）となりました。



グラフィックVFDモジュール

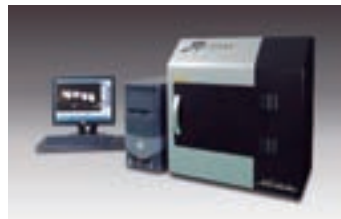
2. 事業方針

米国を中心とした市況の悪化や円高の影響を受けて採算の厳しくなった販売を整理し、コントローラ内蔵蛍光表示管、高輝度階調蛍光表示管モジュール等、高付加価値商品の拡販を進めてまいります。これに併せて、生産体制及び販売体制を見直し、電子事業の再構築を行ってまいります。

セラミック・マテリアル事業

1. 営業概況

電子ペーストは、電子部品産業向けが堅調に推移したほか、新しく太陽電池向けの拡販が売り売上げが伸びました。また、電子部材、デンタル関連商品、セラミック部品及びセラミック原料が総じて堅調に推移いたしました。他方、厚膜印刷回路基板は自動車業界の減産を受けて減少いたしました。その結果、セラミック・マテリアル事業の連結売上高は178億7千8百万円（前年同期比9.6%増加）となりました。

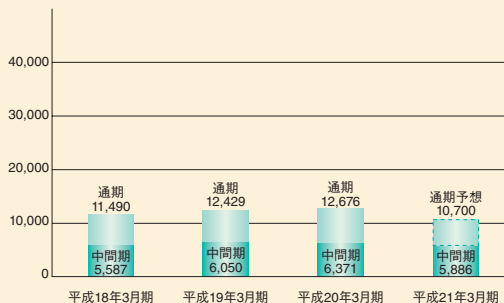


デンタル関連商品
“刀（ジルコニアフレーム用スキャナー）”

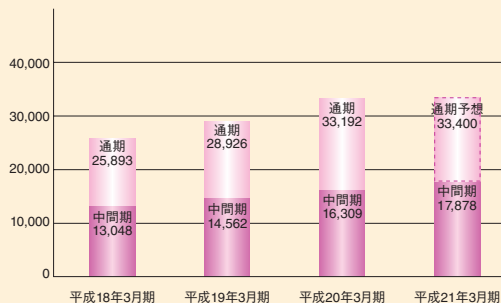
2. 事業方針

電子ペーストや電子部材は、電子部品の高集積化に対応する微粒化技術の開発を進めるほか、太陽電池用等新しい用途向けの商品開発に取り組んでまいります。また、デンタル関連商品を中心として海外市場での拡販に努めてまいります。

電子事業



セラミック・マテリアル事業



環境エンジニアリング事業

1. 営業概況

主力商品の乾燥機及び焼成炉等は、テレビや電池材料用が引き続き高水準で推移いたしました。化学、食品業界向けの攪拌・混合装置の売上げは減少したものの、



セラミック炉芯管ロータリーキルン

工作油剤用の濾過装置及び鉄鋼業界向けの研削機械は増加いたしました。その結果、環境エンジニアリング事業の連結売上高は131億2千6百万円（前年同期比12.2%増加）となりました。

2. 事業方針

乾燥機や焼成炉等のヒート事業は、リチウムイオン電池や太陽電池等の成長分野で、新たな用途開発を進めてまいります。また、濾過装置及び超硬丸鋸切断機は新機種を追加して売上げの増加を図ってまいります。

次に、株式会社ノリタケカンパニーリミテド単独の平成20年度中間期の経営成績についてご報告申し上げます。

当中間期売上高は、482億9千2百万円（前年同期比5.1%増加）、経常利益は、18億6千5百万円（前年同期比20.5%減少）となりましたが、中間純利益は、冒頭でも記載いたしましたとおり、食器事業と電子事業におきまして特別損失を計上したことにより、単独でも12億6千万円の損失となりました。なお、中間配当金につきましては、株主の皆様の日頃のご支援にお応えするため、前年同様1株につき4円50銭を継続することといたしました。

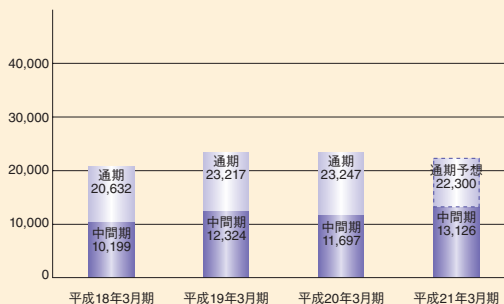
ノリタケグループは、「着実な成長」を遂げることで、「企業価値の最大化」を目指してまいります。また、適切なコーポレート・ガバナンス（企業統治）とコンプライアンス（法令遵守）にも十分に注意を払ってまいります。

株主の皆様には、このようなノリタケグループの取り組みに対しご理解をいただきますとともに、今後とも多大なるご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年12月

代表取締役
社 長 種 村 均

環境エンジニアリング事業



株式会社ノリタケカンパニーリミテド第128期中間期連結決算概要

中間連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

科 目	第128期（当中間期） [平成20年9月30日現在]	第127期（前中間期） [平成19年9月30日現在]	第127期 [平成20年3月31日現在]
資 産 の 部			
流 動 資 産	74,904	78,368	77,142
固 定 資 産	60,843	71,352	64,501
有 形 固 定 資 産	34,906	35,417	35,322
無 形 固 定 資 産	493	696	642
投 資 そ の 他 の 資 産	25,442	35,238	28,536
資 産 合 計	135,747	149,720	141,643
負 債 の 部			
流 動 負 債	37,473	40,242	38,479
固 定 負 債	15,182	20,957	17,257
負 債 合 計	52,655	61,200	55,736
純 資 産 の 部			
株 主 資 本	73,384	72,670	74,817
資 本 金	15,632	15,632	15,632
資 本 剰 余 金	18,834	18,835	18,835
利 益 剰 余 金	44,097	43,366	45,520
自 己 株 式	△5,179	△5,163	△5,170
評 価 ・ 換 算 差 額 等	2,124	8,109	3,264
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	5,282	11,098	6,916
為 替 換 算 調 整 勘 定	△3,157	△2,988	△3,651
少 数 株 主 持 分	7,582	7,739	7,824
純 資 産 合 計	83,091	88,519	85,907
負 債 純 資 産 合 計	135,747	149,720	141,643

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

科 目	第128期（当中間期）	第127期（前中間期）	第127期
	〔平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで〕	〔平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで〕	〔平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで〕
売 上 高	66,883	66,067	133,368
売 上 原 価	48,607	46,682	94,214
売 上 総 利 益	18,275	19,385	39,153
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	14,768	14,312	28,665
営 業 利 益	3,507	5,072	10,488
営 業 外 収 益	388	385	831
営 業 外 費 用	166	135	388
経 常 利 益	3,729	5,322	10,931
特 別 利 益	453	42	118
特 別 損 失	3,286	159	878
税金等調整前中間（当期）純利益	896	5,205	10,171
法人税、住民税及び事業税	2,125	1,729	3,811
法人税等調整額	△724	328	70
少数株主利益	253	297	620
中間（当期）純利益（純損失：△）	△758	2,849	5,669

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：百万円）

科 目	第128期（当中間期）	第127期（前中間期）	第127期
	〔平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで〕	〔平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで〕	〔平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで〕
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,592	1,733	5,780
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,868	△2,282	△5,596
財務活動によるキャッシュ・フロー	△587	△729	△1,451
現金及び現金同等物に係る換算差額	△231	161	△4
現金及び現金同等物の増減額	1,905	△1,116	△1,271
現金及び現金同等物の期首残高	12,168	13,439	13,439
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	14,073	12,323	12,168

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結株主資本等変動計算書

〔平成20年4月1日から
平成20年9月30日まで〕
(単位：百万円)

	株 主 資 本				
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自 己 株 式	株主資本合計
平成20年3月31日残高	15,632	18,835	45,520	△5,170	74,817
中間連結会計期間中の変動額					
剰余金の配当			△664		△664
中間純損失			△758		△758
自己株式の処分		△0		3	3
自己株式の取得				△13	△13
株主資本以外の項目の中間 連結会計期間中の変動額(純額)					
中間連結会計期間中の変動額合計	—	△0	△1,423	△9	△1,433
平成20年9月30日残高	15,632	18,834	44,097	△5,179	73,384

	評 価 ・ 換 算 差 額 等			少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為 替 換 算 調 整 勘 定	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計		
平成20年3月31日残高	6,916	△ 3,651	3,264	7,824	85,907
中間連結会計期間中の変動額					
剰余金の配当					△664
中間純損失					△758
自己株式の処分					3
自己株式の取得					△13
株主資本以外の項目の中間 連結会計期間中の変動額(純額)	△1,633	493	△1,140	△242	△1,382
中間連結会計期間中の変動額合計	△1,633	493	△1,140	△242	△2,815
平成20年9月30日残高	5,282	△3,157	2,124	7,582	83,091

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式会社ノリタケカンパニーリミテド第128期中間期単独決算概要

中間貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

科 目	第128期 (当中間期)	第127期 (前中間期)	第127期
	H20.9.30現在	H19.9.30現在	H20.3.31現在
資 産 の 部			
流 動 資 産	41,423	41,385	40,782
固 定 資 産	58,272	71,002	63,925
有形固定資産	14,749	16,022	15,635
無形固定資産	195	320	299
投資その他の資産	43,327	54,659	47,991
資 産 合 計	99,696	112,387	104,708
負 債 の 部			
流 動 負 債	27,881	27,965	27,487
固 定 負 債	9,343	14,722	11,247
負 債 合 計	37,225	42,688	38,735
純 資 産 の 部			
株 主 資 本	57,621	59,333	59,556
資 本 金	15,632	15,632	15,632
資本剰余金	18,811	18,812	18,812
利益剰余金	28,356	30,052	30,282
自己株式	△5,179	△5,163	△5,170
評価・換算差額等	4,849	10,365	6,416
純 資 産 合 計	62,470	69,699	65,973
負債及び純資産合計	99,696	112,387	104,708

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間損益計算書（要約）

（単位：百万円）

科 目	第128期 (当中間期)	第127期 (前中間期)	第127期
	H20.4.1から H20.9.30まで	H19.4.1から H19.9.30まで	H19.4.1から H20.3.31まで
売 上 高	48,292	45,953	92,992
売上原価	44,695	42,481	85,960
売上総利益	3,597	3,472	7,032
販売費及び 一般管理費	2,832	2,397	4,715
営 業 利 益	764	1,074	2,317
営業外収益	1,555	1,760	3,152
営業外費用	454	489	1,041
経 常 利 益	1,865	2,345	4,428
特別利益	207	12	43
特別損失	3,604	47	987
税引前中間(当期) 純利益(純損失：△)	△1,531	2,309	3,485
法人税、住民税 及び事業税	446	173	500
法人税等調整額	△717	347	300
中間(当期)純利益 (純損失：△)	△1,260	1,789	2,685

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社の概要

[平成20年9月30日現在]

創 立 明治37年1月1日（合名会社）
 設 立 大正6年7月20日
 資 本 金 156億3,230万4,225円
 本 社 名古屋市西区則武新町三丁目1番36号
 在籍従業員数 1,127名（連結5,012名）
 （注）在籍従業員数のうち、グループ会社への出向者は948名であります。
 連結対象会社 Noritake Co., Inc.

株式会社ノリタケボンデッドアブレーシブ
 株式会社ノリタケスーパーアブレーシブ
 株式会社ノリタケコーテッドアブレーシブ
 株式会社ノリタケテーブルウェア
 日本陶器株式会社
 ノリタケ伊勢電子株式会社
 共立マテリアル株式会社
 ノリタケ機材株式会社
 株式会社ノリタケセラミックス
 株式会社ノリタケエンジニアリング
 上記を含む連結対象子会社36社、持分法適用会社2社

役員

取締役・執行役員

代 表 取 締 役 長	赤 羽 昇	常 務 執 行 役 員	堀 口 隆
代 表 取 締 役 長	種 村 均	取 締 行 役 員	山 田 耕 三
取 締 行 役 員	山 田 陽 一	取 締 行 役 員	鳥 崎 悟
取 締 行 役 員	鈴 木 洋 一	執 行 役 員	佐 伯 恭 二
取 締 行 役 員	中 山 和 尊	執 行 役 員	小 倉 久 也
取 締 行 役 員	村 田 実	執 行 役 員	加 藤 公 平
取 締 行 役 員	佐 分 孝 一	執 行 役 員	早 坂 謙 司
取 締 行 役 員	小 倉 忠	執 行 役 員	中 川 正 弘
常 務 執 行 役 員	丸 林 民 夫	執 行 役 員	馬 淵 義 隆

監査役

常 勤 監 査 役	広 沢 博 保	監 査 役	岡 本 和 也
常 勤 監 査 役	安 藤 一 成	監 査 役	森 山 寧 慈

（注）監査役 岡本和也及び森山寧慈の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

会計監査人

あずさ監査法人

主要な事業内容

	工業機材事業	食器事業	電子事業	セラミック・マテリアル事業	環境エンジニアリング事業
主 な 製 品	研削砥石、ダイヤモンド工具、CBN工具、ドレッサ、研磨布紙、研削・研磨関連商品（研削油、パレルメディア等）	陶磁器食器、クリスタルガラス食器、金属食器、メラミン食器、その他食器関連商品、装飾・美術品等	蛍光表示管及び同モジュール、厚膜印刷技術応用製品等	電子ペースト、厚膜印刷回路基板、ファインセラミックス、セラミック資材（石膏、水金、転写紙等）、デンタル関連商品、セラミック原料、電子部材等	遠赤外線ヒーター及び乾燥機、高能率焼成炉RHK、特殊高温雰囲気炉、スタティックミキサー及び応用装置、濾過装置、研削機械、超硬丸鋸切断機等
					
	ダイヤモンドワイヤー	ノリタケボーンチャイナ “花銀彩”	グラフィックVFDモジュール	高性能触媒担体	超硬丸鋸切断機 “シンカットマスター200型”

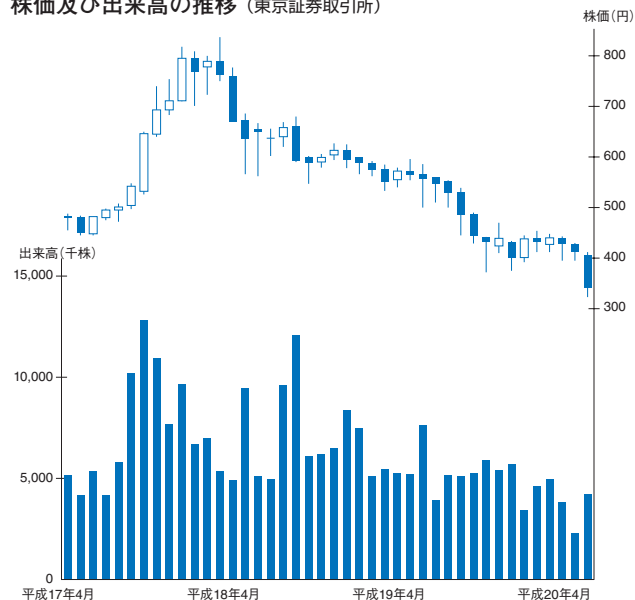
株式の状況

[平成20年9月30日現在]

発行可能株式総数	397,500,000株
発行済株式の総数	158,428,497株
株主数	16,187名
大株主	

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
明治安田生命保険相互会社	12,095	7.63
第一生命保険相互会社	11,700	7.39
株式会社ノリタケカンパニーリミテド(自己株式)	10,680	6.74
日本生命保険相互会社	8,979	5.67
株式会社三菱東京UFJ銀行	7,308	4.61
T O T O 株式会社	5,208	3.29
東京海上日動火災保険株式会社	4,599	2.90
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,306	2.72
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	3,639	2.30
三菱UFJ信託銀行株式会社	2,819	1.78

株価及び出来高の推移 (東京証券取引所)



株式のしおり

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 電子公告の掲載ホームページアドレスは次のとおりです。 http://www.noritake.co.jp/koukoku/
定時株主総会の基準日	3月31日
剰余金の配当基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部
同連絡先	〒137-8081東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 電話0120-232-711（フリーダイヤル）
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社全国各支店 ^(注)

〔株式に関するお手続き用紙のご請求について〕

株式に関するお手続き用紙（届出住所等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書・買増請求書等）のご請求につきましては、以下のお電話並びにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。なお、株券電子化実施後は、特別口座に記録された株式についてのお手続き用紙のみとなりますので、ご注意ください。

電話0120-244-479（フリーダイヤル）

インターネットアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

(注) 株券電子化実施後、株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社経由で行っていただくこととなりますので、株主名簿管理人の「取次所」は、株券電子化の実施時をもって廃止いたします。

なお、未受領の配当金のお支払いにつきましては、引き続き株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社の本支店でお支払いいたします。